

 <p>Keio University 1858 CALAMVS GLADIO FORTIOR</p>	<h1>慶應義塾 調布三田会会報</h1>	<p>調布三田会          発行人 岸野千賀子  <a href="mailto:ckishino1225@gmail.com">ckishino1225@gmail.com</a>          ホームページアドレス  <a href="http://chofu-mitakai.com/">http://chofu-mitakai.com/</a></p>
--	---------------------------	--

## 秋の音楽会

9月23日(日)、たづくりむらさきホールにて関尚雄君(61 経)司会で秋の音楽会を開催しました。会員・ゲストも含め 89 名という大盛会。今年は田園調布を練習場とし活動する男声合唱団マロトタミーズ。代表で指揮者の山村信一さん(マロ)は昭 37 年卒の慶應義塾ワグネル・ソサイエティー男声合唱団出身で、ご実家は今は閉店した日吉の山村書店。曲の合間のナレーションも見事でした。

音楽会は三部構成で、第一部は日本抒情歌集。1 曲目の躍動感豊かな「箱根八里」は、山や海の情景や昭和の思い出が浮かび上がる歌声でした。ピアノ伴奏の息もピッタリ合い美しい響きを醸し出していました。第二部は鮮やかな青の衣装二人のピアノ連弾。ドラマ「のだめカンタービレ」でも知られたドヴォルザークの「スラブ組曲」に始まり(演者は共にドラマ撮影舞台の洗足学園の先生方)、ピアソラの「リベルタンゴ」など情熱的な演奏でした。第三部は酒の歌。合唱団メンバー各々の人生の重みと深い反省、長年の酒とのかかわりがひしひしと伝わり、調布三田会メンバーも納得でした。アンコールは「浪曲子守唄」。中間部のセリフと共に、毎回登場する合唱団十八番だそうです。

合唱団メンバー(タミーズ)内には、指揮者以外にも塾員が数名おられたようで、休憩中には調布三田会員との意外な再会の場面も見られました。最後は慶應讃歌を全員で合唱。一体感のある大変楽しい演奏会となりました。  
飯島正行(H3 理工)



## サマーパーティー

8月25日(日)、灼熱の猛暑の中、14時から仙川の駅前ビル3階のレストラン「空」を貸し切ってサマーパーティーを開催しました。片面いっぱいの窓から光が差し込むフロアを見渡す形で、同伴ゲスト2人を含め56人が集まり、各自が思い思いのテーブルに着席、池田勝彦君(59 文)の司会で始まりました。

岸野千賀子会長(51 文)の挨拶で乾杯すると、次々と出されるイタリアン風創作料理をいただきながら話が弾み、飲み放題とあってビールにワイン、サワーとアルコール消費量も鰻登り。その後新会員の関秀一君(58 商)、櫻井茂正君(60 経)から自己紹介。調布三田会に同姓の関君が3人、櫻井君も3人になりました。



途中で衆議院議員の伊藤達也君(59 法)、調布市長の長友貴樹君(51 法)が挨拶、やがて席も入り乱れて話が盛り上がったところで時間切れ。全員が肩を組んで腰原武人君(H2 経)のトランペット生演奏で「若き血」を斉唱し、高瀬一郎君(53 商)のエールで締めを迎えたのでした。2次会も盛り上がり、3次会では事件が起きたとの情報あり。某君の失くした財布は無事、交番に届けられていたのです。日本って正直で良い国だと思った次第です。



## 連合三田会

10月21日(日)、前夜の大雨が嘘のような青空の下、開催。今年は日吉記念館が建て替え中のため、飲食場所は陸上競技場グラウンド内特設会場。親子三代での参加等、大変和やかな雰囲気、皆様楽しいひとときを過ごされました。芳名帳にも36名の方々から記帳をいただき、無事終了。 田辺一男(55 法)



## 多摩川・野川クリーンアップ作戦

地域貢献に積極的に参加を！

11月11日(日)朝8時から、多摩川清掃活動に参加。今回は10人とやや多めでした。終了後に調布稲門会の皆さんとお茶を飲みながら交流しました。

さらに11月24日(日)には野川清掃活動に参加。晴天にも恵まれて初参加の若手を含め12人が集まり、ゴミ拾いにも力が入りました。最近海を汚染するマイクロ・プラスチックが問題となっていますが、こうして川を流れていくプラゴミが多いことに改めて気付かされました。地球環境のために今、自分でできることは捨てないこと、そして地道な清掃作業が一番効果があるのではないのでしょうか。

清掃後は、今回初めて調布稲門会のお誘いを受けて、かに山にて芋煮会に合流させていただきました。心も体も暖まる交流となりました。 池田勝彦(59 文)



## 調布探訪④ 一深大寺の蕎麦屋めぐりー

調布名物といえば、深大寺蕎麦です。「深大寺そば組合」の蕎麦屋は現在20軒。徳川家光が鷹狩りの途中で食して激賞したとか。江戸時代の「新編武蔵風土記稿」には「極めて絶品」と紹介されています。緑に包まれた風情の中、深大寺ビールと熱燗で一品料理も味わいつつ、各店の蕎麦を食べ比べてみませんか。

今回、「そば打ち同好会」の協力のもと、お勧めのお店を紹介させていただきます。一番人気は予想通り「湧水」。「九割蕎麦、コシが強く細切り、緑色っぽく香りが良い」(内海君)、難点は混みすぎでいつも行列(写真左上)。植物園前の「玉乃屋」は朝ドラ「ゲゲゲの女房」でロケの舞台でした。「自家製粉で産地を細かく表示、そば粉が外二八でこだわりがあらわれている」(石黒君)、「屋外の席に座って堪能」(嵯峨君)。筆者はいつも炙った蕎麦味噌で一献傾けています(写真右上)。2009年のTBSドラマ「MR.BRAIN」では木村拓哉が「八起」で食べていました。この野草天ぷらも結構いけます。

「雀のお宿」(写真左下)は「初めのお茶がおいしい。固めでコシは強く香りも素晴らしい」(谷岡君)。「多聞」はボリュームとコスパが評価されています(星野君、柳谷君)。山門前の2店、深大寺蕎麦発祥の「嶋田家」と「螢を観る会」で毎年世話になっている「門前」も外せません(写真右下)。

市内では、調布駅近くの「原田」と天神通りの「清水」も高い評価でした。冬場、大きめの牡蠣がごろごろ入った「清水」の牡蠣蕎麦はお勧めです。週末、お気に入りの蕎麦屋で一杯いかがでしょうか。



### 第 41 回調布市福祉まつり福祉バザー 楽しく地域貢献

福祉バザーは 12 月 2 日(日)市役所前広場にて開催されました。普段、総会等にも出られない会員からの品物の提供もあり、多くの会員に支えられている活動と実感しています。値付け作業は曜日の関係で、今年は国領に変更し平日を避けて土曜に行ったため現役世代の多くの会員の手伝いを得ることができ、27 名もの参加を頂きました。

バザー当日は天候にも恵まれ 32 名の会員が参加。立地条件があまり良くなく、売れるのは人通りの多い前面に限られ裏面は呼び込みの努力も空しい状況でした。10 時からの販売開始前に三田会ブースを目指した常連に囲まれ、開始直後はカバン、靴を中心に 10 数名の客が我先に商品を手に取り、机が押されて危ないほどでした。ブランドバッグはもう少し高値を付けても売れたのではないかと反省しています。しかしながら、女性物上着が 1 万円で売れたのを始め、表通りの販売はとても好調でした。真冬の行事ということもあり、ガラス食器などにはあまり目が向けられず、売れ残りが多数出てしまいました。販売額は約 23 万円となり、昨年を 1 万円ほど上回ることができました。

福祉活動には色々な方法がありますが平成 2 年以来

調布三田会が取り組んできた福祉バザーは、多くの会員の努力と協力によって支えられて来た事を改めて実感しています。今後も続けていくために、会員各位には日頃からバザー提供品に関心を持って集めておいて頂きたいと思います。ご協力を宜しくお願いいたします。  
土谷勇介(44 経)



### 丘の上句会

世話人：寺川徳子 nontera-cleo@jcom.zaq.ne.jp

歳時記を繙かれたことありますか？角川から文庫版が改訂販売されました。一寸覗いてみて下さい。興味が湧いたら手始めに丘の上句会へどうぞ！

平成三十年丘の上句会自薦二句

白南風やからむしの布織られぬて  
百合の木に二百十日の風を聴く  
名和 未知男

夏草や上九一色村消ゆる  
渡来人安住の地や曼珠沙華  
山崎 山彦

梅雨寒しはふはふ食らふ中華まん  
木の椅子の少しぐらつく残暑かな  
川原 西絲

遠雷や火の山雲にかくれたり  
新米をやさしく研いで子ら遠き  
野本 流々女

中年の僧行く雨の枯野かな  
凌霄や微熱があると妻の言ふ  
福島 壺春

水平線見つむる少女青蜜柑  
樽前山たるまえの空のつづきに馬鈴薯いもを掘る  
寺川 芙由

落花踏む此処にはじまる無縁坂  
酌むほどに人の恋しき十三夜  
藤枝 とし子

星月夜さはらの大樹のささめごと  
ビル街の祠清めて秋に入る  
片岡 信子

笛吹の瀬音にかすか河鹿笛  
お造りの箸を留めし黄菊かな  
奥山 敏

灯ともせば足速きかな瓜の馬  
鷹渡る国後見ゆる十里先  
阿部 倫久

惜春や余韻の長き時の鐘  
一茶忌や馬は尾つぽで雀追ひ  
高瀬 一郎

### 蕎麦打ち同好会

世話人：石黒良昭 brack-stone@jcom.home.ne.jp

第 4 回朝陽学園そば打ちボランティアを 10 月 27 日(土)に実施しました。11 月 21 日(水)15 名の参加で例会を開催しました。次回 1 月 19 日は第 100 回です。



### 音楽同好会

世話人：岸野千賀子 chikako\_kishino@hotmail.com

年に数回、ジャンルを問わず、気軽に音楽を楽しむ会です。終演後、喉を潤しながらの談笑も、楽しみのひとつです。多くの皆様の参加をお待ちしています。



### ボウリング同好会

世話人代理：池田勝彦 katsuhiko.ikeda@gmail.com

年に 3~4 回、笹塚ボウルでボウリング大会を開催。2 ゲーム投げて競いますが、点数よりはストライクの快楽を求めて皆で和気あいあい、楽しんでいます。



### 現役世代の会

世話人：川野辺毅 mkt-nobe5832@i.softbank.jp

自分は元気に現役で活躍中と考えている方の会です。9 月 29 日(土)ピッツェリアクラフト(仙川)で開催しイタリア製石窯と薪で焼いたピザやワインを堪能。



### ローカルクラブ

世話人：寺川毅 terako-butti@jcom.zaq.ne.jp

11 月 23 日(金)、8:44 高尾発小淵沢行きローカル電車で甲府へ。サドヤのワイナリーを見学。老舗だけあって逸品多く買い物が進む。駅前でそばを食し山梨県立美術館、甲府城址公園と予定をこなし、山梨市駅へ。当会会計監事の奥山邸を利用した「和どころ」で夕食。姪御さん夫妻の料理に舌鼓。全員ほろ酔いで無事帰京。



### ランニング同好会

世話人：米持一夫 yone314@jcom.home.ne.jp

11 月 17 日(土)、京王駅伝 20 km に 2 チームが参加、種々ハプニングもありましたが、無事完走。A チーム(秋山、田中環、川野辺、込山)1 時間 41 分 29 秒。B チーム(飯島、平井：助っ人塾員、米持、池田)1 時間 54 分 45 秒。応援の堀尾、廣井両君もありがとうございました。次は 1 月 27 日(日)の調布市民駅伝です。



### ゴルフ同好会

世話人：河村秀昭 hdkm@jcom.home.ne.jp

秋の大会は 10 月 11 日(木)、武蔵野 GC で 14 名が参加し優勝は野村明生君(44 経)。稲門との親善ゴルフは大塚宏君(37 経)が優勝。団体戦は三田会が連覇達成。



### F C 東京ファンクラブ

世話人：柳谷一郎 iyanagiya@nifty.com

昨シーズンは優勝も狙えるかと夏までは期待しましたが後半は低迷して結局 6 位で終わってしまいました。我々の地元チームをぜひ一緒に応援しましょう。



### テニス同好会

世話人：益子淳 mashiko@teq-kobo.com

第 2、第 4 日曜日と第 3 火曜日の月 3 回活動。初心者の為の講習も随時開催。怪我に気を付けながら「百までテニス」を掛け声に、いい汗を流しています。



### カラオケクラブ

世話人：鈴木薫 kaorusuzuki@moon.cims.jp

7 月 7 日(土)と 11 月 17 日(土)にコートダジュール調布北口店で開催。ともに 16 名が参加。ノリノリの熱気あふれるステージの連続で盛り上がりました。



### グルメの会

世話人：橋本定明 shasimo@jh.ejnet.ne.jp

第 44 回グルメの会を 9 月 22 日(土)に開催しました。19 名の参加で、日銀分室内の「貨幣博物館」を見学後、国の重要文化財である「日本橋」を眺めながら、和食を楽しみました。

今回から、関尚雄君(61 経)が世話役に加わりました。次回春のグルメの会に期待ください。



### ハイキング同好会

世話人：堀尾明 andy-horio-4809@outlook.jp

11 月 23 日(金)、晴天の朝、青梅線軍畑駅集合で「高水三山」(高水山、岩茸石山、惣岳山)を目指す。巻き道を好む方の要望を受け入れ結局 2 山になる。その方は過去 1 回も 3 山を登ったことがないとのこと。山々の紅葉も美しく少しハードでしたが楽しい一日でした。最後は調布に戻り乾杯で終了。



## 日本の 3,000m 峰全山に登頂 槍ヶ岳～北穂高岳縦走記 米持一夫(55 経)

調布三田会ではまだ「若手」と思っていたのですが、昨年 60 歳に到達しました。たまたま「日本の山岳標高一覧」を見たら、標高 3,000m 以上の山は 21 座あり、登った山はそのうち 17 でした。残る 4 座は北アルプスに連なる山で一気に踏破できる、よし「還暦記念に 3,000m 峰全山登頂」と思い定めた次第です。

初めての本格的な山登りは高校 3 年夏の八ヶ岳縦走でした。そこで魅入られて大学では「ハイキングクラブ」に入り、地図や天気図の読み方など山登りの基礎を学びました。初の 3,000m 峰は大学 3 年の夏合宿で行った南アルプスの北岳、間ノ岳、塩見岳でした。軟派っぽい名称ですが、夏山縦走が中心のまじめな同好会です。爾来山歩きを続けています。

ところで、今回目指す縦走路は「大キレット」という急峻な岩稜を通過する日本屈指の難ルートです。山仲間 3 名と、慎重を期して、夜行山小屋 3 泊のゆっくりした日程を組みました。7 月初めには八ヶ岳の赤岳・阿弥陀岳に登り足慣らしもしてきました。



7 月 27 日(金)、台風 12 号が接近する中、「逸れてくれ」と望みを託して上高地行の夜行バスに乗り込みましたが、やはり朝から雨。比較的平坦な道を終日傘をさして槍沢ロッジに到着。台風は西に逸れてくれましたが、高い山では影響が長引き夜中は大雨。翌朝小降りになるのを待って、雨具に身を包み槍ヶ岳に向けて標高差 1300m を登りました。7 月下旬からお盆前までは最も混む時期で、本来なら槍ヶ岳穂先への最後の登りは渋滞覚悟のところ、台風を懸念した人が多かったのか、なんとびっくり、山頂は我ら 4 人で独り占めました。残念ながらガスで展望はゼロでしたが…。

ここからは、大喰岳、中岳、南岳と標高 3,000m の



贅沢な天空プロムナードコースです。中岳山頂からはようやく天候も回復し、これから行く穂高の峰々、振り返れば槍ヶ岳から歩いてきた縦走路、そして右手には笠ヶ岳から黒部五郎岳、薬師岳へと続く大パノラマ。大感動です。これだから山はやめられない。他に人がいないのをよいことに、「すげえー!!!」「いいねえ!!!」「たまんねえ!!!」と親爺 4 名大騒ぎの段でした。

南岳小屋に泊まり、翌日はこの山行最大のハイライトである「大キレット」通過です。天気も回復、台風のおかげで人も少なくこれ以上はない条件、なんと日ごろの行いの良いことか。山の神様にも感謝です。ヘルメットを装着していざ岩の稜線へ。はしごやら鎖やら、眼下は切り立った崖のふち(落ちたら死にます)、ナイフリッジ(幅の狭い尖った岩)を乗り越えて…。さすがにおっかなかったですね。

ようやくにして山頂直下の北穂高岳小屋に到着し、ビールと昼食で生き返りました。そして最後の 3,000m 峰北穂高岳に登頂です。下りも結構大変なもので、標高差 750m を一気に降りて涸沢小屋へ。この日の健闘を祝してビールとワインでまた乾杯。

31 日は上高地まで 6 時間。河童橋横のレストランで無事の下山に感謝してまたまた祝杯をあげました。「山でも飲んでいただけじゃあないか」と某先輩の呟きが聞こえてきそうですが、否定はできません。山のビールは最高です。これだから山はやめられない。

【日本の 3,000m 峰】①富士山(3776m)②北岳(3193m)③奥穂高岳(3190m)④間ノ岳(3190m)⑤槍ヶ岳(3180m)⑥悪沢岳(3141m)⑦赤石岳(3121m)⑧涸沢岳(3110m)⑨※北穂高岳(3106m)⑩※大喰岳(3101m)⑪前穂高岳(3090m)⑫※中岳(3084m)⑬荒川中岳(3084m)⑭御嶽山(3067m)⑮西農鳥岳(3051m)⑯塩見岳(3047m)⑰※南岳(3033m)⑱仙丈ヶ岳(3033)⑲乗鞍岳(3026m)⑳立山(3015m)㉑聖岳(3013m)  
次点：劔岳(2999m 2010 年に登頂) ※は最後の 4 座

## モンゴル草原と星空

寺川徳子(40 文)

「モンゴルへ星を見に行こう！」俳句仲間の誘いに乗り 5 人と孫 1 人、「風の旅行社」企画の 4 泊 5 日のツアーに参加した。添乗員も星の解説者も 40 代になるかならぬかの若さ。総勢 18 人の旅。モンゴル航空の出発が 4 時間も遅れるというハプニング。ウランバートルに着いたのは真夜中。雨。70 キロ先のアルタンボラグにあるこの旅行社専用ゲルへ目印は何もない、道さえわからない中を小型バスでひたすら走る。木のドアが付いているだけのゲルに 3 泊。真ん中の小さなビニールの部分が明かり取り。その下にストーブ。必要に応じて煙突をそこから出せるようになっている。ただし雨が降っていると煙突は真っ直ぐなため使えない。着いた夜はそんな日だった。寒い。

### 屈まずに入れぬゲルや露しとど

10 ほどのゲル群の両端離れたところにトイレ。一応洋式の形はしているが、胴体の所はブリキで細工してある。勿論水洗ではない。現地地のゲルにはこんなものついていないから、多分青空。夜 300 歩ほど離れた中をとぼとぼとトイレに向かわなければならなかった。



朝になってみれば外一面の草はハーブ。小さな紫黄白の花が咲いている時期だった。歩く度に当然のことながら草が薫る。モンゴルの人にとってこれこそが故郷の香りという。

### 渺々と風のモンゴル草の花

くるぶしのあたりには樹らしきものの痕跡にぶつかるがそれ以上には成長しない。草原には起伏も有り放牧の馬牛羊の大軍団が群れなす壮大な景。近づこうものなら番犬が吠え続ける。浅い沼があれば、馬や羊が陣取り体の疲れを休めたりしている。

昼間は乗馬組と散歩組とに分かれて過ごした。散歩組だったのだが馬の白骨が無造作に転がっていたりする。行き合わせた現地人に誘われて(?) 辿り着いたゲルでは、馬乳酒や飴をご馳走になった。与えられていた現地語と日本語を対比した小さな本を頼りに身振り手振りで会話。裸で子供は育つということを知ったことも、出逢った裸ん坊の 3 歳児が日馬富士の親戚だったことも面白い偶然だった。

### 身に入むや遊牧民として一途



太陽が大地に沈むのも圧巻だったが、折しも盆の月が大地に沈むのを見たのは感激だった。

### 地の果てに沈む眉月秋のこゑ

遠くウランバートルの町の灯が消えるのを待ち、夜 11 時星を見る為の集合。我々を星が囲むという感じの闇の中に立っていた。天の川の太さがすごい。大地から天の川がぐーんと伸び上がっているような感じなのだ。地球が丸い、空が丸く覆っている様な今までに出逢ったことのない星空の二晩を満喫した。

### 星月夜三百六十度の天地

### 露の世や億光年の星満天

### 星飛びて飛びて祈りの間に合わず

何一つ無駄にしない羊の解体をした手で、夕方には民族衣装に着替え、太陽の沈んでいきつつある草原で、歌と太鼓を交え馬頭琴を奏でてくれた。草原に机を出し、働く人たちも交え皆で食べた羊料理の夕餉をモンゴルの風と共になつかしく思い出す。

土地に執着のないはずの狩猟民族、遊牧民もウランバートルに近付くにつれ土地を囲い、家を建て庭にはまだ手放せぬゲルを置き暮らしているさまが見えたり、まさに建築ラッシュ。変化していくのはこれからだ。人間の原生活が姿を変えていくそんなことを感じた最後の日だった。

## 私の学生時代

### 60 年以上前のこと 馬場敬子(33 経)

卒業して 60 年が過ぎました。私は女子高校を三田で三年間、大学の一・二年を日吉で、三・四年を三田でと合計七年間を慶應義塾にお世話になりました。

前回川人先輩が会報に記されておられます様に、日吉にはアメリカ軍使用のかまぼこ兵舎があり、それを校舎に使用しておりました。最近のように大勢の学生を収容する設備が無く、卒業式は三田山上の屋外で執り行われたのを記憶しております。

大学時代には今の様に前もって休講の情報が入らず登校してから掲示板で休講を知るわけで、男性陣は日吉駅の向こう側、三田では田町駅から学校への途中の麻雀荘に消えて行くのが当たり前の光景で、その後の授業のノートは何人かにあてにされていました。

女子高校時代三年生の時には第二外国語の選択があり、経済学部にはドイツ語、フランス語を初歩からやらないクラスが 1 クラスずつ設けられて私はそのドイツ語のクラスに組み入れられました。

この制度は私の前後一年くらいでその後は第二外国語より英語に力を入れたほうが良いという学校の方針になったようです。従ってクラスメイトは男子高校、女子高校の出身者ばかりで非常に親しみやすいクラスで 60 年経った現在でも年に一回の総会、春秋の行事で旧友に会う機会を得ています。

野球の応援にもよく神宮に通いました。応援指導部の先輩部長に私も何かお手伝いしたい旨お話ししましたら

当時は応援指導部に女性はダメなんだよと断られました。今では華やかに女性が活躍していますのに…。



昭和 43 年より早慶戦に女子バトン部登場。  
現幹事萩原信子君(47 文)が参加。

## お知らせ

### ● 第 34 回調布三田会総会

5 月 12 日(日) たづくり 12 階大会議室

講演会 「ラグビーワールド杯の見どころ」

講師 花岡伸明氏

秋田ノーザンブレッツ チームディレクター  
元 東芝府中キャプテン・監督

### ● 今後の予定

3 月下旬 観桜会

8 月下旬 サマーパーティー

10 月 5 日(土) 秋の音楽会 たづくり 12 階大会議室

### ● 新入会員紹介(入会順)

野村良也君(H9 商)

### ● 新入会員募集

お知り合いの塾員に調布三田会への入会をお勧めください。

問合せ先・連絡先：

幹事長 田辺一男 090-3092-7048

tanabe@ohhara-law.jp

### ● お願い

住所、電話番号、メールアドレスの変更等あれば上記の幹事長宛にメールでお知らせください。

### ● お詫びと訂正

第 40 号会報 1 面見出しが、「第 32 回調布三田会総会」となっていますが、正しくは「第 33 回」でした。お詫びして訂正いたします。

## 編集後記

今回は趣味を生かし貴重な体験にチャレンジされたお二人の紀行文を掲載致しました。お二人の勇気に刺激を受け、後に続く方が増えるのではと期待しています。調布三田会には色々な趣味をお持ちの方がいらっしゃると思います。皆様の周りにもご紹介したい方がいらっしゃいましたら、是非編集部まで情報をお寄せください。

石黒良昭(41 商)

編集委員：

(編集人) 石黒良昭(41 商)

(副編集長) 米持一夫(55 経)

(委員) 益子淳(43 法)、鈴木浩子(58 文)、

池田勝彦(59 文)、込山俊博(60 理工)、

上村美紀(H1 文)

(写真) 寺川毅(41 経)

(顧問) 寺川徳子(40 文)

